

ニッキン投信情報

2010年4月26日 第609号

運用会社情報

ドラマ仕立ての投資情報番組を延長

三井住友アセットマネジメント

三井住友アセットマネジメントは、1月からBSテレビで放送してきた自社制作の投資情報番組「CLUB104」を3カ月間延長する。視聴率が当初の予想以上に良かったため、番組の人気をホームページへのアクセスに結びつける「クロスメディア」、「ワンコンテンツ・マルチユース」のメディア戦略として生かす。

同番組は、5分間のショートストーリー。パーテナーに扮する俳優の六角精児氏と2人の客が、カウンター越しの掛け合いを通じて日常会話から投資のキーワードを引き出していく。そこに常連客で“謎の男”役に扮する同社の前田良治社長が登場し、キーワードを解説。悩みを抱える客に決めの一言アドバイスをしてきた。4月以降は、「中国・アジア関連」をテーマに「GDP（国内総生産）」、「国家財政」、「輸出動向」などの構成で全10回放映。今回は“謎の男”に代わって、“謎の中国人女性”に扮する女優のチャン・リーメイ氏が助言する。

番組は、放送開始からの3カ月平均で、視聴率4.4%（地上波換算約8%台）を獲得。BS放送ランキングでは5位以内に入るなど人気。

平日7時40分からエフエム東京で放送中のラジオ番組「マーケットレポート」も、4月からエフエム愛知、エフエム大阪にネットワークを拡大。日本の人口の7割を占める首都圏、中京圏、近畿圏で視聴できるようにした。企画を手掛ける同社の宗正彰営業推進部情報戦略チームチーフは「マスメディアを活用した当社独自の情報発信スキームで、より多くの人に分かりやすくスピーディーにお届けしたい」と。